令和４年度　鑑石園ショートステイ　事業報告書

１．事業運営の概況

感染症対策として、職員の手洗い、うがい、手指消毒を徹底した他、利用者にも可能な限り協力をお願いした。また、机、いす、ベッド等の消毒を行ったが令和４年７月から８月にかけて新型コロナウイルス感染症によるクラスターが発生してしまった。

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、外出やレクリェーション等はできなかったが、特別養護老人ホームと連携し、感染症対策を徹底した上で、少人数でのレクリェーション及びリハビリテーションを工夫し、利用者に楽しく過ごしていただけるよう配慮した。

毎月他の居宅介護支援事業所に空き情報を送付した他、情報共有等によりケアマネジャーとの信頼関係の構築に努め、稼働率の向上を図った。

２．事業計画実施状況

（1）サービスの充実

① 新規利用者受入れの際は、相談員が作成したアセスメントを基に、担当職員全員に利用者本人の身体状況等を周知し、提供するサービスについて事前に検討を行った。

② 利用者毎に作成されたケアプランに基づき、短期入所生活介護計画を作成し、家族と利用者本人が満足できるサービスの提供に努めた。

③ 送迎時間の変更を希望されるご家族には、職員配置を考慮し希望の時間に送迎を行えるよう工夫した。

④ 家族との信頼関係を築くため、送迎時の家族との会話を重視し、入所時には利用者の心身の状態を伺い、退所時には、利用中の状況を報告した。また家族の負担を考慮し、退所時には衣類を洗濯し綺麗な状態で返却した。

⑤ ショートステイ利用中に起きた事故については、ただちに家族に連絡し、謝罪するとともに事故の詳細と怪我の有無、受診の可否等についてわかりやすいよう説明し、誠意ある対応に努めた。

⑥ 職員資質向上を図る為、毎年継続して内部研修を行っているが、本年度は新型コロナウイルス感染防止の為、ラインワークスにて動画研修等を行った

⑦ 利用者受入に際しては、身体状況等に合わせた部屋の配置とし、事故等が危惧される方には、フットコールを設置し見守りを強化する等の安全対策に努めた。

(2)稼働率の向上

① 目標稼働率80%を目指し、各居宅介護支援事業所に空き情報を提供し、積極的に営業活動を行い、新規利用者が増加したが、令和 4 年 7 月にショートステイ利用者が新型コロナウイルスに感染していたことが判明。他の利用者および特養入居者も既に感染しており、クラスターが発生したため、令和 4 年 8 月末までの約 1 ヶ月強、ショートステイを閉鎖。そのため年間の平均稼働率は71.5%と目標には届かず前年度も下回ってしまった。

② 空床時には緊急利用にも対応できるよう、家族や地域包括支援センターとのコミュニケーションを重視し、臨機応変な対応を心がけた。

(3)機能訓練、レクリェーションの充実

① 新型コロナウイルスの影響があり、室内でできる、利用者の希望が多い調理レク等を多く取れ入れる事で、満足度の向上に努めた。

② 手作業を中心としたリハビリテーションを行い、作品を展示、掲示する等、達成感を味わうことができるよう工夫した。実施したリハビリテーションについては、機能訓練記録・作業記録簿に詳細を記入した。

③ 令和4年度に実施した行事については次の通り

月	内容
4月	海鮮丼レク・ケーキ作り(調理レク)
5月	たこ焼き(調理レク)
6月	パンバイキング(調理レク)
7月	ピザ作り(調理レク)
8月	ショーステイ閉鎖
11 月	外出、クレープ作り(調理レク)
12 月	クリスマス会・忘年会
3 月	お花見

(4)衛生管理

① 感染症予防のため、シーツ交換時にベッド周りの消毒を行い、ベッドマットレスのダニ対策を実施した。また毎週 1 回食器類の消毒を実施した。

② 入所前の検温を実施、諸症状のある利用者に対しては、居室を分ける等の工夫により感染防止に努めた。

③ 疥癬に感染された利用者に対しては、適切な対応を行い、感染拡大を防ぐことが出来た。